

JR東日本労働組合 秋田ジャーナル

JR東日本労働組合

秋田地方本部

発行者 ～ 佐藤 俊樹

編集者 ～ 教 宣 部

秋田市中通6丁目7-9秋田県畜産ビル1F

TEL 835-4040 FAX 835-4060



第5回地方委員会を開催!!!

春闘 勝利!!



満額 獲得!!

地方本部は、第5回地方委員会を2月23日に畜産会館にて開催し大会以降の成果と教訓をふまえ、2019春闘方針をはじめとする当面する活動方針を満場一致で決定した。委員会の冒頭、田中副委員長の提起で故池田氏への黙とうを全員で行った。大会の議長には車両センター分会の浅利委員が選出され議事進行。

佐藤地本委員長は「春闘本番となる。6千円の一律ベア要求を掲げて闘う。明日はユニオンの団結を見せる中央集会が行われる。職場からの声を大切にし、これまでの組織拡大に自信を持ち、現在行われている代表者選挙を闘い秋田市議選、参議院選挙を闘い抜こう。」と挨拶。

来賓として藤枝市議からはイーグス・アショアの問題を含めた議会報告と4月に控えた市議選の決意表明がされた。また、7月に行われる参議院選挙に向けて私鉄総連出身の「もりやたかし」候補からは連帯と決意表明が述べられ、全構成員からの熱い拍手でエールを贈った。高橋全交運秋田事業所所長からは、この委員会前段で共済担当者会議を開催し、共済の変更点、事業内容の説明を受けた。

本部生田書記長からは「ユニオンの将来像、労働組合がなくなれば春闘すらなくなる。問題意識を持ち今春闘に課題を設けた。全組員による最大限の集会への参加。JR内の労組への統一闘争呼びかけ、エールを贈った。3つの組合から連帯のメッセージが送られてきた。「前に進もう」という意識を持ち運動を進めていく。」と挨拶がされた。

大会では「組合提案時はまだ契約になっていない、個別契約でやるとしていることにしっかりと要求を出していく。」「秋田市議選のパンフ配り声かけをしている。色々な場面で若い人と話をして加入につなげたい。」「駅業務に関わる会社の提案理由がわからない。理解できない。」等々の意見、質問が出されて工藤書記長からは「相次ぐ支社提案に対して組員の声を反映するべく取り組んでいく。行われている代表選挙への対応をしっかりと行っていく。」と答弁がなされた。最後に委員会宣言を全体で確認し、佐藤委員長の団結ガンバローで締めくくった。

『「賃金は労働条件の最たるものである。」この言葉通り生活改善の最大の取り組みだ。そして「賃金は労使交渉によって決まる。」事も春闘の闘いで作り上げられてきた。』